

# 『大学・学校づくり研究』執筆要領

2008年7月1日

2009年8月1日改定

編集委員会

『大学・学校づくり研究』の論文及び論文要旨の執筆は、次の要領による。

## 1. 論文原稿は、必ずワープロを使用し、次の点に留意すること。

- (1) A4判横書きとする。
- (2) 原稿は、日本語または英語で作成する。
- (3) 原稿は、図（写真）及び表、参考文献を含め、和文20000字以内、英文10000語以内で作成する。
- (4) 和文は、常用漢字、現代仮名遣いを用いる。
- (5) 本文の前に、表題・著者名（所属・勤務先等）・要旨を頭記し、英文の表題・著者名（所属・勤務先等）を付す。
- (6) 著者が複数の場合、執筆代表者を連名者の筆頭に置く。
- (7) 句読点は、和文には全角の「。」、「、」を使用する。英文及び引用等で用いる欧文には半角の「.」「,」を使用する。
- (8) 図（写真）及び表は本文中の適切な位置に挿入し、表題を付すること。図（写真）及び表には、通し番号を付し、表の表題は表の上部に、図の表題は図の下部に記す。なお、図（写真）及び表が一つの場合にも、図1または表1と記す。
- (9) 注は文中の該当箇所を1)、2)、……のように表記し、論文原稿末尾にまとめて記載する。
- (10) 参考文献は、最後尾に一括する。
- (11) 参考文献は、和文文献については、著者名の五十音順とし、番号はつけない。ただし、複数の言語の文献を引用した場合は、言語ごとに五十音順またはアルファベット順の一覧を作成する。
- (12) 見出しには、アラビア数字で番号を付す。小見出しには半角の両括弧付アラビア数字を用いる。
- (13) 参考文献の出版年等、本文中の年号は、原則として西暦を用いる。
- (14) 数字は、熟語・成語に含まれるもの以外は、アラビア数字を用いる。
- (15) 略語は、一般的に用いられているものに限る。まぎらわしい略語には初出の際に原語と日本語の訳語を小括弧付で付す。
- (16) 外国人名は、原語で表記する。

## 2. 論文要旨等を英文および和文で、下記のように作成すること

- (1) 題目（日本語40字以内）、氏名、所属をA4判、横書きで作成する。
- (2) 和文要旨をA4判、横書き、400字程度で作成する。
- (3) 英文題目（英語30語以内）、英文要旨を150～200語で作成する。

3. 著作権については著作者が有するが、著作物の発行に関する権利は名城大学大学院大学・学校づくり研究科がこれを有する。なお、著作物は『大学・学校づくり研究』および同研究科ウェブサイトにおいて公開し、関係諸機関からの電子媒体での収集に応じることとする。

4. 引用文献の提示方法は、原則として次の形式に従うこと。

(1) 文献を示す割注については、全角丸括弧内に「著者の氏(注1) \_ 出版年: \_ 始頁 - 終頁(注2)」の記載を原則とする。なお、「\_」は半角スペース、「:」は半角コロン、「-」は半角ハイフンをあらわす。

(注1) 共著の場合は、「第1著者・第2著者」の順に記載し、ナカグロでつなぐ。3名以上の場合は、「第1著者ほか」として「ほか」をつける。編書の場合は、「編者名編」として「編」を入れる。監修の場合は、「監修者名監修」として「監修」を入れる。英文による3名以上の共著の場合は、「et al.」を、一人の編書の場合は「ed.」、2名以上の編書のときは「eds.」をつける。

(注2) 終頁の数値のうち、始頁の数値と同じ上位の桁は省略する。

例:「…が明らかにされている(木岡\_1990: 165-9、浦田\_1993: 259-61)。」

(2) 翻訳書、翻訳論文の場合は、「原著者の氏\_原書の出版年=訳書の出版年」を原則とし、頁数の記載にあたっては、訳書の頁を用いる場合は、「原著者の氏\_原書の出版年=訳書の出版年: \_ 始頁 - 終頁」、原書を参照して独自に訳出した場合には、「原著者の氏\_原書の出版年: \_ 始頁 - 終頁」とする。

例:「…と論じている(ミント1998 = 2000: 51-64)。」

(3) 引用文献は、末尾に和文、欧文を含めて著者の姓のアルファベット順、年代の古い順に西暦で記し、同一著者の同一年の文献は、引用順に a, b, c……を付し、注の後にまとめて記載する。

#### <和文の著書>

著者氏名(注1)(出版年)『書名-副題』(注2)出版社名(注3)。

例: 木岡一明(1990)『大学職員論-未来への展望』名城出版。

例: ミント B. (浦田広朗訳)(1998)『高等教育史』名城出版。

#### <和文の共著(編書)の収録論文>

著者氏名(出版年)「論文名-副題」共著(編、監修)者氏名『書名-副題』出版社名、始頁-終頁(注4)。

例: 浦田広朗(1998)「社会人大学院の展開-成人教育論の視点から」木岡一明編『現代の大学教育』名城出版、253-68。

#### <和文の論文>

著者氏名、出版年、「論文名-副題」『雑誌名』巻(号): \_ 始頁 - 終頁。

例: 高岳太郎、2000、「オーストラリアの高等教育財政-日本との比較」『高等教育学会誌』5(2): 198-213。

(注1) 共著の場合は、「第1著者・第2著者」の順に記載し、ナカグロでつなぐ。編者の場合は、「編者名編」として「編」を入れる。「第1著者ほか」としてもよい。監修の場合は、「監修者名監修」として「監修」を入れる。カタカナ表記の外国人名については、「氏\_名の頭文字.」(キング、K.)とする。

(注2) 書籍に関する第3巻、第2版、上・下などの情報は、『書名-副題(第3巻)』のようにして記載する。

(注3) 文庫名、新書名から出版社名がわかる場合は、文庫名、新書名を出版社名に代替してもよい。

(注4) 終頁の数値のうち、始頁の数値と同じ上位の桁は省略する。

#### <英文の著書>

著者氏\_名\_ミドルネームの頭文字.(注5)(出版年)\_書籍:\_副題(斜体)\_出版社名.

例: Porter, M. E. (2004) *Competitive Advantage*, Free Press.

#### <英文の共著(編書)の収録論文>

著者氏\_名の頭文字\_ミドルネームの頭文字\_(出版年)\_“論文名:\_副題,”\_共著(編)者名(注6)\_書籍:\_副題(斜体)\_出版社名.

例: Kioka, K. (1998) “The New Age of Management,” Porter, M. E., Mintzberg, H. and Urata, H. eds., *Teaching Revolution*, Meijo Press.

#### <英文の論文>

著者氏\_名の頭文字\_ミドルネームの頭文字\_(出版年)\_“論文名:\_副題,”\_雑誌名(斜体)\_巻\_(号):\_始頁-終頁.

例: Urata, H. (1995) “The new Life for College Curriculum : Assessing Progress in the Reform of Undergraduate Education,” *Higher Education Review*, 5 (3) : 175-83.

#### <翻訳書・論文の場合>

原典の書誌情報。(翻訳出版年, 訳者名訳, 『書名-副題』出版社名。)

例: Porter, M. E. and Mintzberg, H. (1983) UK *Academic Culture*, ABC Press. (木岡一明訳 (1995) 『イギリスの学術文化』名城出版。)

(注5) 英文の場合、「,」「:」「.」は半角とし、「,」「:」の後に半角スペースを空ける。

(注6) 共著の場合は、著者氏\_名の頭文字\_ミドルネームの頭文字\_and\_著者氏\_名の頭文字\_ミドルネームの頭文字.と「and」でつなぐ。3人以上の場合は、著者氏\_名の頭文字\_ミドルネームの頭文字.を「,」でつなぎ、最後の著者名のみ、「\_and」としてつなぐ。編書の場合は、著者氏\_名の頭文字\_ミドルネームの頭文字\_ed.と「ed.」表す。複数の編者の場合は、「eds.」とする。

#### <ウェブサイトからの引用の場合>

##### ・ 図書・論文の引用

可能な限り上記の引用文献の提示方法にしたがい、URLと最終アクセス日を( )内に記載する。

例: 木岡一明 (2003) 「調査の指針」『経営学研究の方法』名城出版。

(<http://www.meijo-u.ac.jp/daigakuin/introduction.html>, 2004.12.10.)

例: 浦田広朗 (2004) 『大学改革論』名城出版。

(<http://www.meijo-u.ac.jp/daigakuin/lecture.pdf>, 2004.12.10.)

例: Kioka, K. (2003) “Middle Leader in Elementary Schools,” *School Management*, 50: 153-79.

(<http://www.meijo-u.ac.jp/daigakuin/lecture.html>, 2004.12.10.)

##### ・ 新聞記事などの引用

原則、図書・論文の引用形態にならうが、新聞記事については掲載月日と可能であれば掲載ページを記載する。

例: 木岡一明 (2004) 「授業での IT 活用は不十分」『名城新聞』12.16.

(<http://www.meijo-u.ac.jp/news/education/20041216.html>, 2004.12.20.)

大学・学校づくり研究 第7号

2015年3月7日

発行 名城大学大学院 大学・学校づくり研究科

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501

TEL 052-832-1151 (代表)

<http://emspd.meijo-u.ac.jp/>

印刷 有限会社エスエスプリント